

宮本 たかし

福井県議会議員



県政 **NEWS**

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 福井県越前市白崎町 73-1-3 3F
電話・ファックス **0778-22-6633**

2022
夏号

Vol.30



拝啓
不安定な気候が続いておりますが皆様お変わりなく
お過ごしでしょうか。
五月十二日の臨時議会にて副議長職を退任致しま
した。この間、皆様にはご厚情を賜り、大福なく職を
全うできましたこと、心より感謝申し上げます。今後は
一議員として、又、自民党福井県議会への政務調査
会長として汗をかかせて頂く所存です。
コロナ禍の下、福井県政も大変重要な時期を迎え
ておりますが、改めて県民益の向上、為力を尽くしたい
と考えておりますので、今後とも変わらぬご指導・ご
鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

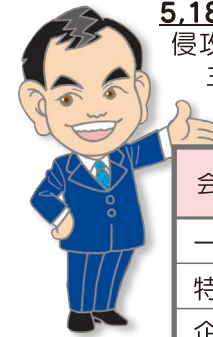
宮本

敬具
俊



令和4年度 6月補正予算 について

通常、6月議会においては補正予算は予算自体の議案がなかったり、あっても少額な場合が多いのですが、令和4年度6月補正予算についてはコロナ対応に関する国の交付金もあり、総額69億円と多額なものになっています。これにより令和4年度一般会計予算は当初より1.3%の伸びとなり、**5,181億円(昨年同月比マイナス9.6%)**となっています。内容的には、ロシアのウクライナ侵攻などで原油・原材料・肥料の高騰により困窮している事業者、農家を支援する予算が主なものとなっています。



<当初予算>

(単位：百万円)

会計区分	令和4年度			令和3年度 6月現計予算	増 減	伸び率(%)
	既決予算	6月補正予算	6月現計予算			
一般会計	511,173	6,936	518,109	573,193	△55,804	△9.6
特別会計	74,759		74,759	74,490	269	0.4
企業会計	43,801	80	43,881	42,563	1,318	3.1
合 計	629,733	7,016	636,749	690,246	△53,497	△7.8

以下に今回の補正予算の中で主要なものを記載いたします。(吹き出し内は私の解説)

中小企業者等への資金繰り円滑化対策：2億5,800万円

原油・原材料価格の高騰により利益等が減少した中小企業者等に対し、円滑な資金供給を行うために、新たな特別資金を創設するとともに、新型コロナウイルス関連制度融資の期間を延長する際に発生する追加保証料に対する支援を行う。

■ 経営安定資金(原材料・原油価格高騰対策分)の創設

- 対 象 者** 原材料・原油価格の高騰により最近1か月とその後2か月の利益率等が前年または前々年同月と比べ3%以上減少している事業者
- 貸 付 枠** 6億円
- 貸付限度額** 8,000万円
- 融 資 期 間** 7年以内(据置1年以内)
- 保証料補給** 1/3補給

■ 新型コロナウイルス関連制度融資の条件変更に伴う保証料に対する支援

- 対 象 者** 県制度融資のうち、新型コロナウイルス関連資金を利用している事業者
- 保証料補給** 条件変更に伴う追加保証料について、当初の補給割合を限度として県が全額補助



原材料費の高騰は、企業の売上ではなく利益に大きな影響を与えています。そこでこの事業では、対象者を売上ではなく利益の減少した企業とし、支援を行っています。



ふくいの農業生産緊急支援事業：8億8,700万円

肥料や燃油、農業資材等の価格高騰により経営が圧迫されている農家を緊急支援し、今後の経営継続を図る。

土地利用型作物(米、麦等)の肥料等価格の高騰分を支援 **補助額 2,000円/10a**

園芸作物の肥料等価格の高騰分を支援 **補助額 11,000円/10a**

国制度「施設園芸セーフティネット構築事業」にかかる積立金を支援 **補助率 生産者積立金の1/2**

保温性・耐久性の高い施設園芸用ハウスピーネル張替に係る資材高騰分等を支援 **補助額 150円/m²**



恒常的な米の消費減退に伴う米価の下落とともに、耕作に関わる経費の高騰が大きな問題となっています。食料問題は国家安全保障の問題と密接につながっており農業者への支援は必須だと考えています。



「ふく割」による消費喚起事業：9億7,800万円

原油・原材料価格の高騰や新型コロナウイルスの感染者の高止まりなどから生じる消費活動の抑制が懸念される中、「ふく割」を発行し、消費活動を下支え。

全業種、小規模店、衣料品店、酒類販売店、飲食店で使用できるクーポンの発行

発行期間 令和4年7月～10月



コロナ禍の下、既に消費活動が低迷している中、物価高に伴い企業の調達・仕入れコストが大幅に上昇し商業者、特に飲食店では致命的なダメージを受けています。評判のいい「ふく割」の実施期間を延長する事業です。課題として割引対象となる金額が高く、一度の買い物(飲食)が対象額に達せずメリットを受けられないという声も伺いますので対象額の引き下げが望まれます。

新型コロナウイルス感染症対策事業：11億8,700万円

新型コロナウイルス感染症への対策として、検査・医療体制の強化を図ります。

大学病院におけるコロナ病床の整備 中等症以上のコロナ患者を受け入れるHCU病床の整備を支援

検査体制の強化 医療機関における検査機器等の設備整備を支援

医療体制の強化 専門外来や入院病床の院内感染防止に必要な設備整備を支援



第7波との認識が正しいと思われる現在の福井県における新型コロナ感染状況に対応するため医療・検査体制の充実が図られています。命を守るという点において医療体制の充実は大変重要な政策であることは議論の余地はありません。しかしながら積極的疫学調査の観点から無症状の感染者を検査にて洗い上げ、その数を報道などで深刻に取り上げられる状況が正しいのかについては疑問が残ります。国での議論になりますが、新型コロナ感染症のカテゴリーを現在の2類から5類に引き下げ、新型インフルエンザと同じような対応とすることを含め、他の既往症やその為に服用している薬との悪い相互作用(飲み合わせ)が少ない一般的な経口薬(飲み薬)の開発が望まれるところです。

宮本たかしダイアリー



総合防災訓練



桂由美 BRIDAL LAND WAKASA
オープニング



市リクリエーション協会で盆踊り参加



市スポーツ協会から
越前市長への要望



神山地区いきいき合同サロン



伝統工芸アイドル「さくらいと」との意見交換



産業常任委員会



CMディレクター戸田正寿展

県政メモ23：福井県のDX支援について (デジタルトランスフォーメーション)

最近DX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉聞く機会が増えました。DXとは、コンピューターやスマホ、通信環境など情報技術を向上させることにより、より豊かな世の中に変化(変革)するための一連の動きを指す言葉です。DXは大企業のみならず、中小企業にこそ人材不足や企業の経営効率の向上に必要なものであり、その推進は福井県の経済界が他県に先んじて競争力を強化できるものだと考えています。しかしながら、自社の仕事や会社について考えると以下のような経営者の方々からの話を伺う機会も多いのが現状です。



DXで何ができる
のかわからない

DXによるメリットは
何なのか

DXには関心があるが
人材がない

この課題を克服するため県では、初期段階の「DXとは何ぞや」に関するセミナーや人材の不足を補完するための専門家の派遣、*DX投資額の補助について多様な支援策を準備しています。今回のその支援策の詳細と、実際に過去に県が決定した具体的な支援案件についてレポートを作成し、私のホームページ上で「政務調査レポート」として掲載いたしました。左のQRコードにてそのレポートをダウンロードできますので、少しでもご関心のある方は是非ともご一読いただけたらと考えています。



*現在DX投資に関する支援については5月21日で受付を終了しています。非常に引き合いも多いようですので2次募集の検討を県に要望していきたいと考えています。

<http://www.miyamototakashi.jp/report>